

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年の体づくり運動が6単位時間しか担当されていない点。 第2学年で体育理論が取り扱われていない点。 球技において、第1学年及び第2学年の2年間で「ベースボール型」が取り扱われていない点。 器械運動において、第1学年及び第2学年の2年間で「マット運動」しか取り扱われていない点。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×3	
	(ア) 自由		各2×2	
	(イ) 特性			
	3	(ア) 技能		各2×3
		(イ) 性別		
		(ウ) 多様な楽しみ方		
	4	(ア) 自主的		各2×5
		(イ) 勝敗		
		(ウ) 自己		
		(エ) 一人一人		
(オ) 課題				
2	スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すこと。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6×3	
	遠くから踏み切り、振り上げ脚をまっすぐに振り上げること。			
	インターバルでは、3又は5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ること。			
2	はさみ跳び		4	

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
3	心身相関のしくみによって、体を動かすことで心が落ち着いたり、気分が晴れたりするから。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	8
4	1	図1 かかえ込み跳び		各 4 × 2	18
		図2 前方屈腕倒立回転跳び			
	2	課題	それぞれ1つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 課題と取り組ませる練習が対応しているものだけを正答とする。	10	
		練習			
5	1	表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	32
	2	左右同側の手足を同時に前に振り出す動作。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4	
	3	図1 バルソビアナポジション		各 4 × 3	
		図2 プロムナードポジション			
		図3 クローズド・ポジション			
	4	(1) 拍子の強弱を逆転させる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
(2) 後拍を強調した弱起のリズム。					

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1	(ア) 氣勢		各 3 × 4	39
		(イ) 姿勢			
		(ウ) 打突部位			
		(エ) 残心			
	2	一足一刀の間合い		4	
	3	図1 送り足		各 3 × 2	
		図2 開き足			
4	相手と合わせて礼をし、竹刀を腰につけて(帯刀)3歩進み、構えながら蹲踞する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	9		
5	面一面		4		
6	突き技		4		

中学校保健体育科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
7	(1) ①・③・⑤	全部合っているものだけを正答とする。	9
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルドボールが宣せられたとき。 ・誰が最後に触れてボールがアウトオブバウンズになったか審判に確証がなかったとき、あるいは審判の意見が一致しなかったとき。 ・最後のフリースローが成功しなかったときに、両チームのプレーヤーがフリースローのバイオレーションをしたとき(ダブルフリースローバイオレーション) ・ライブのボールがリングとバックボードの間に挟まったり載ったりしたままになったとき。 ・どちらのチームもボールをコントロールしていないかボールを与えられる権利がない状態でボールがデッドになったとき。 ・両チームに対する等しい罰則を相殺したあとで、ファウルによる罰則が残らず、最初のファウルもしくはバイオレーションが発生する前にどちらのチームもボールをコントロールしていなかったかボールを与えられる権利がないとき。 ・第1クォーター以外の全てのクォーターやオーバータイムが始まる時。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×3
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持っている相手をマークする動き。 ・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守る動き。 ・ゴール前の空いている場所をカバーする動き。 ・相手や味方の位置を確認して、ポジションを修正して守ったりする動き。 ・チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動き。 ・味方が抜かれた際に、攻撃者を止めるためのカバーの動き。 ・一定のエリアからシュートを打ちにくい空間に相手や相手のボールを追い出す守備の動き。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×3
2	(1) 高く放物線を描くゆるい球	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	(2) ウ, エ, オ	全部合っているものだけを正答とする。	4

49